

## 第114回交流フロア運営会議（議事概要）

### 1 日時・場所

日時：2021年10月6日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

### 2 参加者数 11名

### 3 会議内容

<新規提案>

#### （1）キッズ・サバイバー講座（地震編）

##### 【概要】

- ・シェイクアウトや減災に関する知識を身につける講座を開催したい。
- ・夏の時期には水害も多く、洪水編を開催してきたが、今回は地震編を予定している。
- ・地震が起こる少し前に戻れたらどんな対策ができるかを学ぶほか、胸骨圧迫やAEDの使い方の講習も開催予定。

##### 【意見】

- ・応急手当の際に、子どもがフェイスシールドや手袋をすることを嫌がらないか。  
→これまで嫌がる子どもはほぼいなかった。むしろ興味があり、順番が回ってくる前から付けている子もいたので、あまり心配ないと思う。
- ・防災士である企画者への質問タイムを設けてほしいという声があったが、対応可能か。  
→講座の実施にだいぶ慣れてきたので、対応できるよう工夫していきたい。

#### （2）吃音講座「言語聴覚士と吃音」

##### 【概要】

- ・ことばと聞こえの専門家「言語聴覚士」の仕事内容や、吃音についての講演を国際障害者週間がある12月に合わせて開催したい。
- ・吃音の体験談発表や、グループワーク、少人数の相談会も予定している。
- ・昨年同様に会場参加とオンライン参加を併用したい。
- ・申し込み時点で、参加者からも体験談発表を募集したいと考えている。

##### 【意見】

- ・過去に参加したことがあるが、とても良いイベント。今後もぜひ続けてほしい。
- ・オープンなフロアで行うことで、吃音を知らない人にも知ってもらえる機会になると思う。
- ・オンラインを併用する場合、オンライン参加者は何人程度がよいか。  
→そんなに心配はしていないが、10人ぐらいが運営しやすいと思う。

### (3) 尼宝線から考える伊丹とその周辺の交通事情

#### 【概要】

- ・ 尼崎と宝塚を結ぶ尼宝線を中心に、伊丹やその周辺の交通事情を考える企画がしたい。
- ・ 前半は企画者側3人によるトークショーを行い、後半は「空想路線」を参加者と一緒に考えたい。

#### 【意見】

- ・ 空想路線を考える際の「路線」というのは、「列車」の路線という考え方でいいのか。  
→ ほぼその考え方でよい。空想路線を作成できるサイトもあり、それを活用したい。
- ・ どんな人たちに来てほしいのか。  
→ 誰でも参加可能だが、鉄道ファンの人が多く集まるのではないかと予想している。
- ・ イベントのタイトルに「鉄道」というワードが入っていた方が、来てもらいやすいのでは  
→ 正式なタイトルはこれから考えるが、鉄道好きなら「尼宝線」だけですぐピンとくると思う。
- ・ 鉄道が好きな人とそうでない人が集まるならば、それぞれチームに分かれて、作成した空想路線を比較しあうのも面白そう。

### (4) 第3回エコ川柳の開催について

#### 【概要】

- ・ ことば蔵で2月に開催している「もったいない月間」に合わせて、次回もエコ川柳の募集を行いたい。
- ・ 第2回は集まった作品が少なかったため、応募作品を増やす方法を考えたい。  
(例)『「川柳+想い」で募集しているが、「川柳+短歌」にする』、「募集期間を長めにする」など。

#### 【意見】

- ・ 一概に言えないが、第2回はコロナによる緊急事態宣言で減った可能性も大きいのではないかな。
- ・ 第1回にどんな年齢層の人が応募してくれたのかを分析すれば、広報戦略が立てられるのでは。
- ・ 川柳と一緒に想いを募集している所が、エコ川柳の特徴だと思うので、なくさないでほしい。
- ・ 伊丹は柿衛文庫があり、俳句のまちという印象があるのだが、俳句は募集しないのか。
- ・ 川柳だけでなく、俳句や短歌でも応募可能にするのはよいアイデアだと思う。  
→ 審査する側が対応できるかどうかは要検討。
- ・ 時期的に難しいかもしれないが、短歌を募集するなら歌会始を意識して、イベントを告知してはどうか。

### <イベント実施報告>

#### (1) 鉄工所の仕事

- ・ 中学生以上を対象に、鉄工所の仕事や鉄加工について解説するイベントを開催した。
- ・ 参加者は4名だったが、鉄工所や鉄加工に関する質問がとても多かった。
- ・ 道具に興味を持つ人がとても多く、道具を展示したのはとても好評だった。若い年代の人にもも

っと参加してほしいと感じた。

(2) いたみ文芸ことそうし

・参加者は2名と少なかったが、お互いの作品を読み合い、作中に出てくる場面について語り合い有意義な時間を過ごすことができた。

(3) キッズ・サバイバー講座

- ・小学生とその保護者を対象とした防災、減災について学ぶ講座の洪水編を開催した。
- ・参加者は定員9組に対して8組で、回数を重ねるごとに徐々に参加組数が増えている。

(4) おすすめ本の交換会カエボン部

- ・「鳴く虫と郷町」に合わせ、鈴虫の音色を楽しみながらのカエボン部を開催した。
- ・オンライン参加者を合わせて3名。オンラインでも鈴虫の鳴き声は届いていた。

(5) いたみアーカイブ部

- ・図書館で調べる学習コンクールの作品提出直後の開催だったので、その振り返りを行った。
- ・次回以降の調べるテーマについて話し合ったが、当日中に決まらず次回決定することとした。
- ・次回からまた新たなテーマについて活動する時期なので、興味のある方はこの機会にぜひ参加して欲しい。

(6) 漫画を語ろう！

- ・今回のテーマは「実在の人物がモデル・もしくは登場する漫画」。参加者は3名で、漫画が原作の実写ドラマ化された作品についてや、作品で使用された音楽等、色々な話題で盛り上がった。
- ・次回は10月27日(水) 18:30、テーマは「青春を思い出す漫画」。

(7) ビブリオバトル(オンライン)

- ・緊急事態宣言中での開催となり、市外からの参加率の関係でオンライン開催となった。
- ・イベント開催前に、オンライン会議の操作練習を行ったが、練習に参加できず、本番で1名うまく接続できない参加者が出てしまったことが反省点。
- ・バトラーによる発表後のチャンプ本投票は、投票システム機能を効率的に利用することができて良かった。

**4 次回の運営会議 2021年11月10日(水) 18:30~ ことば蔵1階 交流フロア**

※第1水曜日(11月3日)が祝日となりますので、次回は第2水曜日です。ご注意ください!